

クロスワードタイム

Vol.801 発行からもう半年。日建協執行部も生まれ変わりました。この夏の暑さは本当に厳しいものでしたが、皆さんはどうやってその暑さをしのぎましたか? 二重樫の言葉を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様にクオカードを贈呈します。

■メ切:10月10日(金) ■宛先:mail → info@nikkenkyo.jp はがき → 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント:

安全面で不安感が拭えません。

1	2	3	4	5	6	7	8
9					10		11
12			13		14		
15		16				17	
			18		19		20
21	22		23		24		25
26				27			
	28		29				30
31					32		
33					34		

ヨコのカギ

- 自分の言いたいことを勝手気ままに口に出して言うこと。
- 動力なしで空を飛ぶための乗り物。
- 武士の大将。また、武道にすぐれた將軍。
- ことわざ。「恩を〇で返す」。
- 晴天を祈って、軒先などに吊るす人形。
- 芳香性のある無色の液体。合成樹脂・合成ゴムの製造原料。
- 今年の干支と言え?
- 「岩城〇〇」「佐藤〇〇」「堂本〇〇」。
- 鶏肉などに醤油とみりんを下味をつけ、かたくり粉をまぶして揚げたもの。
- 格闘技などで、手を刀のように使って相手を打つこと。
- 精製途中で、採取したばかりのものに近い状態の漆汁。
- いかめしく力強い様相で立つこと。
- 有機物の上に生じる菌類またはその菌糸の集まり。
- よすみ。また、四方。
- 「〇〇プロ」「〇〇クラシック」「〇〇ダブル」。
- 「人魚姫」「親指姫」「マッチ売りの少女」で知られるデンマークの童話作家。
- 1973年に米国で結成され、2013年1月に結成40周年を迎えたロックバンド。ほとんどのアルバムの邦題に「地獄」が含まれています。
- 昔、食膳に添え、適宜に用いた塩。
- 一つの言葉。ちよとした短い言葉。

タテのカギ

- ブラジルとアルゼンチンの国境にある、世界遺産にも登録されている世界最大級の滝。
- 思うようにならず気持ちが高ぶること。いらいらする気持ち。
- 心の中に隠している別の考え。特に、相手に対する悪意。
- 足の速い人のこと。
- 演劇・音楽会などの催しや集会などを行う広い広場。
- 「〇〇〇スコア」「〇〇〇ベッド」「〇〇〇クリック」。
- 弥生時代の石器の一つで、穀類の穂を摘み取るのに用いました。
- 釣りで、一尾も釣れないこと。
- 西洋風につくった部屋。
- その人の運勢を表すとされる手の形相。
- 貸し出しビデオ。また、その店。
- 焼けて黒くなること。また、そのものや、その部分。
- 十分とはいえないが、だいたい。とりあえず。
- 楽道家。楽観主義者。
- 輸出入の通関業務を貿易業者の委託を受けて代行する専門職のこと。
- 動物の、胴体から分かれ、からだを支えたり歩行に使ったりする部分。
- 顔のむくみを解消する「静脈マッサージ」の考案した、TVや雑誌などでも紹介された女性の皮膚科医は?
- スポーツで、一軍に対する予備的なチーム。
- 目の向き。目で見て方向。
- 最近では、酒のつまみのことをこう言うそうです。
- あることをくわだてること。また、その内容。もくろみ。

Vol.801クロスワード 正解と当選

答えは「ユルキャラ」でした。

ハ	ク	タ	サ	イ	ヤ	シ
サ	ク	リ	ン	グ	ア	エ
ミ	ズ	キ	モ	リ	シ	イ
シ	ヨ	サ	ノ	ア	キ	コ
ヨ	セ	ウ	エ	イ	ソ	ウ
ウ	ラ	キ	カ	サ	ナ	ギ
ギ	マ	イ	ギ	ジ	イ	ベ
サ	ベ	ツ	カ	ボ	グ	ル
ミ	ノ	リ	ツ	キ	ウ	ス
ツ	リ	コ	ウ	コ	ク	シ

多数のご応募ありがとうございました。
次の当選者の方にクオカードを送らせていただきました。

- 中本千景(安藤ハザマ)
逸見知生、植島生八、小笠原暁子、神子河澄、徳永宣子、福原哲夫(鴻池)
賀谷尚志(佐藤)、小泉隆志、吉田 宏(銭高)、花井 敦(大日本)
角田初美(東洋)、藤上祥太(戸田)
菊川和昌、穴戸 豊、高田大介、西野修平(飛鳥)
菅山孝志、高梨哲也、増田 聡、増田憲昭、森 啓、森田兼生(西松)
町村賢一(丸彦渡辺)、伊藤哲郎、加藤清彦、椎野武幸(三井住友)
岡本雅世、新家絵美、竹内千寿子(横河) <敬称略>

編集後記

日建協は、第91回定期大会の開催をもって新体制となり、卒業された先輩方の思いをしっかりと受け継いで、新たな一年をスタートしました。

今年度は、日建協結成60周年を迎える節目の年度となります。様々な難題に正面から取り組んでこられた諸先輩方への敬意と、そして日建協を支えていただいた多くの方々への感謝の気持ちを忘れることなく、60年という歴史の重みを感じながら、私たちは今後も着実に歩んでいきたいと思えます。加盟組合の皆さんのニーズに沿った活動を進めていきたいと思えますので、ぜひ皆さんの忌憚のないご意見・ご感想をお聞かせください。

日建協はこれからも皆さんの声に耳を傾け、働くものの立場から産業界内外へ力強く意見発信をしていきます。年間どうぞよろしくお願ひします。

船い

お盆休み、ふと気がつく部屋でゴロゴロしながら、テレビ画面に映っている高校野球に夢中になっている。なぜ高校野球に見入ってしまうのか、その魅力とはいったい何なのか。

高校野球は、技術力で魅了させる点ではプロ野球にはかなわない。おそらく一度負けると終わるといふ緊張感と、ミスが多い故に9回2アウトからの逆転など試合終了まで何がおこるか分からないところが魅力の一つなのだろう。そして何といても、ひとつの目的に向かって仲間と力を合わせ、ひたむきにプレーする真摯な姿が、見る人に大きな感動を呼び起こす。なんの邪心もない、純粋な気持ちに魅かれるのだから。少年たちはそこに自分の将来を見据え、高校生はそこに自分を置きかえ、過ぎたる者はそこに青春の回想を巡らすのだ。さわやかな笑顔と流れる汗や涙は、今後も感動の歴史を描きつづけるのだから。

私は、高校時代バスケットに打ち込んでいた。バスケットは野球ほど社会的な注目は浴びてないが、見ているものを惹きつける力やスポーツとしての面白さは負けてないと思っている。地区予選で準決勝まで勝ち進むと全校応援になる野球部が少いうらやましかったが、バスケットの大会にも多くの友人や知人が試合を見に来てくれた。特に一点を争う緊迫したゲームになると、他校の選手たちなどの声援も加わり、シュートが決まるたびに会場全体が盛り上がる何とも言えない快感は今でも忘れられない。

数年後、娘のバスケットの試合を見に行き、ギャラリーの片隅で自分のことのように一喜一憂することが、些細で密かな私の夢である。そんな思いを知ってか知らずか、肝心の長女はまったくバスケットに興味を示さない。でも夢は簡単にはあきらめない…そろそろ、次女に期待するか。(自由人)